

# 札幌市アイヌ文化交流センター

SAPPORO AINU CULTURE PROMOTION CENTER



SAPPORO



札幌市アイヌ文化交流センターは、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族であるアイヌ民族が育んできた独自の文化を見て・触れて・体験する施設です。

当施設では、アイヌ民族の伝統的な民具や家屋などを展示するほか、アイヌ文化を体験できる様々なイベントを開催しています。

周囲に広がる豊かな自然の四季折々の風景とともに、アイヌ民族の伝統文化をご体感ください。

※当施設の愛称「サッポロピリカコタン」は、アイヌ語で「札幌の美しい村」を意味します。



※本書には、様々なアイヌ語を掲載しておりますが、アイヌ語の訳や表記方法については、様々な学説があり、本書に掲載した以外の内容が用いられる場合もあります。

## 施設の概要



### 屋内エリア

#### ● エントランスホール

アイヌ民族の伝統楽器「トンコリ」をモチーフとして制作された木彫作品「ポロ トンコリ」を展示するほか、アイヌ民族の歴史や文化を紹介するタッチパネルを設置しています。



#### ● ストリートギャラリー

ゆるやかな川の流れをイメージしたスロープに沿って、アイヌ民族の伝統的な工芸品などを展示しています。



#### ● 展示室

アイヌ民族の伝統的な民具など、およそ300点を展示しています。展示品の一部は、手に取ってご覧いただくこともできます。

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」をご利用いただくと、日本語のほか、英語や中国語、韓国語でも展示物の解説をご覧いただけます。



## 屋外エリア

### ● 歴史の里

村長の家で、儀式や集会などの場としても使用される「ポロチセ(大きい家)」や、4～5人ほどの家族の住居「ポンチセ(小さい家)」などを再現しています。



### ● 自然の里

小川の流れを利用して動く「イユタフ(精米・脱穀用具)」を再現しているほか、周辺にはアイヌ民族の暮らしに関わりの深いオオウバユリなどの植物が生育しています。



### ● イタオマチブ

交易や漁に使用される外洋船「イタオマチブ」を復元し、展示しています。



## イベント



### ● アイヌ文化体験講座

アイヌ民族の伝統文化に触れるきっかけとして、アイヌ文様の刺しゅうや木彫などを体験する講座を開催しています。

開催時期／6月～2月頃

事前申込／要

参加料／有料(材料費など)



### ● 輪踊り

アイヌ民族の伝統儀式「コタンノミ(家と村の無事を祈る儀式)」を行った後、一般参加形式で輪踊りを踊ります。

開催時期／6月頃

事前申込／不要

参加料／無料



### ● アイヌ文化体験イベント

アイヌ文化を気軽に体感できる催しとして、伝統的な楽器の演奏や舞踊の披露など、様々な内容のイベントを開催しています。

開催時期／5月～11月頃

事前申込／不要

参加料／無料

各イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止などのため、中止・延期とする場合があります。

# ～アイヌ文化に触れる5つのキーワード～

## <キーワード①> イタク -言葉-

アイヌ語は、アイヌ民族が生活を営む上で使用してきた独自の言語であり、北海道・樺太・北千島・東北北部の4つの地域の方言に大別されると考えられています。

アイヌ語の表記には、カタカナやローマ字などが使用され、独特な発音にはカタカナの小文字(会話例の「ㇿ」や「ㇾ」)などを当てて表記することがあります。

なお、アイヌ語は、平成21年(2009年)2月、ユネスコ(国連教育科学文化機関)が発表した「Atlas of the World's Languages in Danger」(第3版)で、世界で消滅の危機にある言語の一つとして挙げられています。

### 【会話例(方言:北海道沙流地域)】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| A: イランカラㇿテ.       | (こんにちは。)        |
| B: イランカラㇿテ        | (こんにちは。)        |
| A: ○○ セコロ クレヘ アン. | (私の名前は○○です。)    |
| エレヘ マカナㇿ アン?      | (あなたのお名前は何ですか?) |
| B: □□ セコロ クレヘ アン. | (私の名前は□□です。)    |
| A: フナㇿ ワ エエㇿ?     | (出身はどこですか?)     |
| B: サッポロ ワ ケㇿ.     | (札幌です。)         |
| エアニ ヘ?            | (あなたは?)         |
| A: トウキョウ ワ ケㇿ.    | (東京から来ました。)     |

## <キーワード②> カムイ -神-

アイヌ文化の重要なキーワードである「カムイ」は、一般に「神」と訳されますが、アイヌ文化の上では、カムイと人間は対等な関係にあります。そして、アイヌ民族は、山や川、海、火、動物や虫のほか、家や舟、鍋や椀なども含め、生活を取り巻く環境の全体をカムイと考えます。

カムイは人間に必要なものをお土産として持ち、役割をもって「カムイモシリ(カムイの世界)」から「アイヌモシリ(人間の世界)」へやってくると考えられています。例えば、「アベフチカムイ(火のカムイ)」は、光や熱を人間にもたらし、儀礼の際には人間の祈り言葉をカムイに届ける役割を果たします。アイヌ民族は、カムイからのお土産を受け取り、そのお礼として感謝の儀礼を行うことで、互いに良い関係を築いてきました。

# ～アイヌ文化に触れる5つのキーワード～

## ＜キーワード③＞ アミプー衣服ー

アイヌ民族の衣服には、動物の皮や樹皮などを素材とするものや、木綿など外来の布を利用したものがあり、形の上では男女の区別なく使用されています。

儀式の際には、布を切り伏せるアププリケのような技法を用いたものや、独特な文様を刺繍したものなど、華やかに装飾された着物を用います。



- ・アットゥシ：オヒョウやシナノキ、ハルニレなどの木の内皮を材料として織った着物。染色した糸や木綿の色糸を織り交ぜ、縞柄にしたものもあります。
- ・ルウンベ：様々な色・柄の布を細く切り伏せ、文様を施した着物。色合いも様々で、見た目にも華やかなものが多くあります。
- ・カパラミツ：大きく切り抜いた白布を全体に縫い付け、刺繍を施した着物。切り絵のような白布の文様が、背中一面に広がります。
- ・チヂリ：切り伏せは施さず、直接文様を刺繍した着物。

## ＜キーワード④＞ アエプー食べ物ー

アイヌ民族は、四季の移り変わりとともに得られる食材を生かしながら、自然との関わりの中で独自の食文化を築いてきました。

食材は、弓などを使った狩猟、川や海での漁、山菜の採集、植物の栽培など、様々な方法により調達します。調達した食材は、肉や魚を山菜と一緒に煮込む「オハウ」など、様々な調理方法により食されるほか、サケの皮を衣服の素材として使用するなど、様々な方法で活用されます。

そのほか、冬季に備え、肉や魚を燻製にしたり、山菜や穀物を乾燥させるなど、食材の保存に関する工夫も、アイヌ民族の食文化の特徴の一つと言えます。



## <キーワード⑤> チセ -家-

アイヌ民族の家屋「チセ」は、胆振・日高地域ではカヤ葺き、上川地域ではササ葺きとされるなど、その地域で入手しやすい植物を素材として建てられます。

チセの内部は、家族が座る位置や来客用の場所などが決まっており、部屋の中心にあるいろりは、「アペフチカムイ（火のカムイ）」が暮らしを見守る場所と考えられています。

また、上座の窓「ロルンプヤラ」は、カムイが家の中に入りする神聖な場所として、儀式などで使用されます。

そのほか、チセの奥には、和人との交易で得た杯や刀などが飾られる宝物置き場があります。



「アイヌ文化に触れる5つのキーワード」は、一般社団法人札幌大学ウレシバクラブの協力を得て、作成しました。

※アイヌ文化については、地域による特色や様々な学説があり、本書に掲載した内容以外の解釈などもあります。

# ～都心で触れるアイヌ文化～

札幌市アイヌ文化交流センターのほか、札幌市中心部にも、アイヌ文化に触れられる様々な拠点が 있습니다。

## <アイヌ文化を発信する空間ミナパ>

アイヌ工芸品作家が制作したアート作品を展示するほか、大型ビジョンでアイヌ語による天気予報などを放映しています。

なお、空間を囲む柱「カムイの大樹」は、大型ビジョンで放映する道内14地域の気温と連動して、様々な色合いに変化します。

※「ミナパ」は、アイヌ語で「大勢が笑う」を意味します。

所在地 札幌市中央区北4条西4丁目  
地下鉄南北線さっぽろ駅構内

観覧時間 9時00分～22時00分

観覧料 無料



シンボルオブジェ  
「イウォルン バセ カムイ」  
(その場所を見守る尊い神様)

## <アイヌ文様タペストリーの展示>

アイヌ刺しゅう作家が制作した作品や、アイヌ民族と市民が共同制作したアイヌ文様タペストリー作品を、市内の公共空間に展示しています。



札幌駅前通地下歩行空間に展示する  
タペストリー

### 【展示場所 令和4年(2022年)2月現在】

拠点名	所在地	観覧時間	観覧料
JRタワー 1階西コンコース	札幌市中央区北5条西2丁目	5時15分～24時00分	無料
札幌駅前通 地下歩行空間	札幌市中央区北3条西3・4丁目地下	5時45分～24時30分	
札幌市役所 1階ロビー	札幌市中央区北1条西2丁目	8時45分～17時15分	
丸井今井札幌本店 大通館地下2階出入口 (小島のひろば側玄関)	札幌市中央区南1条西2丁目	10時30分～19時30分	
札幌市中央区民センター 2階区民ホール前	札幌市中央区南2条西10丁目	8時45分～21時00分	

※各施設の観覧時間やタペストリー作品の展示場所は、変更となる場合があります。

## ◆ アクセス



### 【自動車】

札幌市中心部からおよそ40分

新千歳空港からおよそ75分(道央自動車道 北広島IC～国道230号線経由)

### 【公共交通機関】

じょうてつバス「小金湯」下車、徒歩6分

・[快速7] [快速8] 札幌駅から約70分

・[12] 地下鉄南北線真駒内駅から約35分

※運賃や時刻表などの運行情報は、運行会社ホームページなどでご確認ください。



## ◆ 開館時間・休館日

開館時間／8時45分～22時00分

(展示室、庭園のみ9時00分～17時00分)

休 館 日／月曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)、毎月最終火曜日

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止などのため、臨時休館とする場合があります。

## ◆ 入館料

無料(館内展示室のみ有料)

### 【展示室観覧料】

利用区分	観 覧 料
一般	200円(180円)
高校生	100円(90円)
65歳以上・中学生以下	無料

※ ( )は団体料金です(20人以上、要事前予約)。

札幌市アイヌ文化交流センター(サッポロピリカコタン)

〒061-2274 札幌市南区小金湯27番地

電話:011-596-5961 FAX:011-596-5967

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/index.html>

札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課  
令和4年(2022年)2月発行

